

MONO  
第 5 2 回 公 演

# スラムダンク



スラムダンクはしつして奏でられてゆく♪

作・演出  
土田英生

出演  
金替康博  
水沼 健  
奥村泰彦  
尾方宣久  
渡辺啓太  
石丸奈菜美  
高橋明日香  
立川 茜  
土田英生

MONO  
第 5 2 回 公 演

# スラムダンク

MONO 第52回公演

作・演出 土田英生

# デマゴギー・ジャズ

「この石は木星から来たから触ると覚醒するよ」

あの子は真剣な顔つきで言う。

それは私が拾ってきたただの石。

指摘したらさっきよりマジになって反論してくる。

やがて……他にも信じる人が出てきてしまった。

ああ、デマが奏でられてゆく。デマゴギー・ジャズ♪

出演

金替康博 水沼健 奥村泰彦 尾方宣久 渡辺啓太 石丸奈菜美 高橋明日香 立川茜 土田英生

2025年2月22日(土) 13:00開演

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館・劇場

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2 <https://www.ryutopia.or.jp>

《料金》

全席指定=4,000円 ◀ 子ども0円チケット対象 U25\*=1,500円

\*公演時、25歳以下の方対象(未就学児を除く)。ご入場時に年齢の分かるものをご提示ください。

《チケット発売日》会員=12/14(土) 一般=12/18(水)

※会員および一般発売日初日はインターネットと電話予約に限定させていただきます。残席があった場合、翌営業日11:00より窓口にて取扱います。

《チケット取扱い》

りゅーとぴあ

オンライン・チケット <https://piagettii.s2.e-get.jp/ryutopia/pt/> [発売初日11:00~]

電話 025-224-5521 [発売初日11:00~]

窓口(りゅーとぴあ2階) [発売初日(会員先行・一般発売ともに)取扱いなし]

オンライン・チケットはこちら→



チケットご購入の際のご注意

- 未就学児はご入場いただけません。また小学生以上の方はチケットが必要です。
- お買い上げいただいたチケットのキャンセル・変更はできません。
- やむをえない事情により、出演者等が変更されることがあります。
- 車椅子席はりゅーとぴあチケット専用ダイヤルまでお問合せください。

《お申込み・お問合せ》

りゅーとぴあチケット専用ダイヤル 025-224-5521

(11:00~19:00/休館日除く)

18歳以下の子どもを無料で招待！子ども0円チケット

同伴の保護者等も半額で入場可能。

12/18(水)11:00より専用フォームで受付開始します。

詳細・お申込みについては、りゅーとぴあHPをご覧ください。



※公演当日、小学1年生~18歳以下の方が対象です。  
※座席は一般販売席の後方エリアを予定しており、お席は選べません。  
※先着順で定員に達し次第お申込み受付を終了します。

詳細はこちら▲

■サポートシステムのご案内

(お申込先/りゅーとぴあチケット専用ダイヤルTEL.025-224-5521)

●託児サービス/対象:生後6ヶ月~小学2年生まで

託児料:未就学児1人1,000円、小学1・2年生1人1,500円

※公演日の2週間前までに申込みください。なお定員になり次第、締め切らせていただきます。

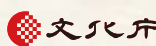
※公演日前1週間を過ぎてのキャンセルは託児料金と同額のキャンセル料が発生します。

●難聴者赤外線補聴システム/あらかじめお申込みください。

《会館のご案内》

- ・新潟駅より車で15分
- ・関越自動車道/磐越自動車道新潟中央ICより車で20分
- ・新潟駅バスターミナルよりバスで15~20分  
萬代橋ライン 青山方面行「市役所前」下車 徒歩5分
- ・新潟空港より車で30分

主催:公益財団法人新潟市芸術文化振興財団、TeNYテレビ新潟



文化庁文化芸術振興費補助金

(劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業)

MONOは京都で結成して35年。当初は関西の公演だけでしたが、1999年以降は毎回全国ツアーを行ってきました。しかしなぜか新潟では上演する機会が一度もありませんでした。

仕事では何度も新潟に足を運んでいます。思い出はたくさんあります。買ったばかりのスマホを落とし、さらに人に踏まれて壊れたのも新潟でした。交通事故に巻き込まれ夜遅くに警察署で取り調べを受けたこともあります。それでも新潟が好きです。

来るたびに、朝、萬代橋から信濃川沿いを30分ほど歩きます。物事を考えるのにあんなに適した場所はありません。歩いている時に作品の構想を思いつき、慌ててりゅーとぴあまで走って一心不乱にノートにメモしたこともあります。京都には哲学の道という場所がありますが、私にとって信濃川沿いはまさに構想の道です。その新潟にMONOで行ける。劇場でお待ちしております。

土田英生

舞台美術 | 柴田隆弘 照明 | 吉本有輝子 音楽 | 園田容子 音響 | 堂岡俊弘 衣裳 | 大野知英

演出助手 | neco(劇団三毛猫座) 舞台監督 | 青野守浩

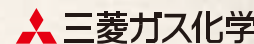
照明操作 | 岩元さやか 演出部 | 習田歩未 宣伝美術 | チャーハン・ラモーン

制作 | 垣脇純子 豊山佳美 協力 | キューブ リコモーション radio mono

企画・製作 | キューカンバー 京都芸術センター制作支援事業



りゅーとぴあゴールドスポンサー



大阪 | ABCホール 2025年2月14日(金)~2月17日(月) 新潟 | りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館 劇場 2025年2月22日(土)

東京 | 吉祥寺シアター 2025年2月28日(金)~3月9日(日) 豊橋 | 穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース 2025年3月15日(土)・3月16日(日)

岡山 | 岡山芸術創造劇場 ハレノワ 中劇場 2025年3月20日(木・祝)